

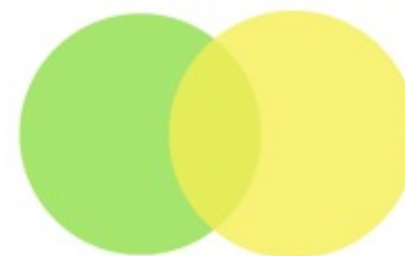
2022年2月3日（木） 14:00-17:00 @zoom

外国ルーツ青少年未来創造事業（SYDRIS）第5回ネットワーク会議

事業目標に向けての手応えと課題

—最終年度に備えての振り返りと成果・情報共有—

CLD青少年のための
市民性教育
プログラム



**ALECE
TAKAOKA**

SINCE 2010

初期状態

10年経っても
同じことの
繰り返し…



「地域や世界の未来を担う子ども」
子どもたち自身？周りの大人？

外国ルーツの子どもだけで
なく周りも変わらないと！

中長期アウトカム：
高岡市とその周辺地
域において、市民性
教育プログラムによ
り、CLD青少年が市
民として主体的に参
画できる社会になる。

学習支援

情報支援

市民性教育

地域の課題解決
地域活性化

CLD青少年のための市民性教育プログラム (Culturally and Linguistically Diverse)

学習支援
+
市民性教育講座

地域の一員としての
意識を高める

批判的思考やリテラ
シーを養う

地域や世界の課題を
自分ごととして捉え
て解決策を探る

多くの人を巻き込みなが
ら社会変革へとつなげる

SDGs
フォーラム
2020/2022年度

フィルム
フェスティバル
2021年度

自分たちの思いや考
えを発信する

アウトプット（中間評価+その後）

- 参加者数（目標値年間延べ200・400人）：133・62(+65)人
- 講座の実施数（目標値年間5・12回）：5・3(+5)回

市民性教育講座の実施



- エントリー数（目標値10組）：18組
- フォーラム参加者数（目標値150人）：89名

SDGsフォーラムの実施



- 制作WS参加者数（目標値は10人以上）：22年3月予定
- 映画祭参加者数（目標値は200人）：22年5月予定

フィルムフェスティバルの実施



- 参加者数（目標値10人）：10人
- 従事時間数（目標値10H以上）：2H

各種事業の運営・参画
（青年部）



- 登録者数（目標値20人）：17人
- 対面教室時間数（目標値26H/月）：平均17.2H/月
- 進路状況（目標は希望進路の実現）：受験生8名中7名が志望校へ入学・編入、就職希望者1名中1名が志望企業へ就職
- ICT活用支援参加人数（目標値延べ200・500人/年）：延べ114人

学習・進学支援プログラムの実施（22年8月時点）



- 実施数（年3回）：YouTubeチャンネルでの動画配信に変更
- 参加者数（目標値60名）：Youtube再生回数166+66回

進学・就職説明会
相談会の実施



市民性教育講座

ALECE TAKAOKA | アレッセ高岡主催

CITIZENSHIP EDUCATION PROGRAM WORKSHOP2021

市民性教育プログラム ワークショップ2021

2021年4月-9月
開催予定イベント

7月 教育現場に入り込むこせ科学

教育現場に入り込んだこせ科学の事例を通じて、批判的思考について考えます。ワークショップでは、身の周りの(こせかもしれない)科学について思いを巡らせます。

講師：藤田 孝之 氏
アレッセ高岡理事

6月 土蔵造りの町並みで体験する 煙中体験×初期消火体験

火事がおきたら、まずどのような行動をとることが大切なのでしょうか？火は瞬く間に燃え広がります。火が燃え上がると同時に恐ろしいのが「けむり」いざという時慌てず落ち着いて行動を取るために、地域住民同士、外国人住民や子どももみんな、さまざまなつながりから、一緒に防災意識を高めましょう！

6月



映画観賞会

2023年度実施予定のフィルムフェスティバルに向けて、さまざまなジャンルの映画に触れ、映画について学びます

「市民性教育」ってなに？

ここでいう「市民」とは、主体的に社会と関わることを志し、実践し、他者と共に生きたいとする者のこと。「市民性教育」とは、その「市民」に必要な資質を育てることです。

アレッセ高岡ホームページにて
イベント詳細逐次公開！

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況によってプログラム内容が変更される場合があります。

ブラジルから来た子どもは数学のどこでつまづくのか -日本とブラジルの教育の違い-

一見、世界共通で外国ルーツの子どもたちにもハードルはなさそうな算数と数学の学習。ブラジル人の子もたはほとんどどこで困難を感じ、私たちはどうサポートすればよいのでしょうか？

講師：ファビオ・エベルリン 氏
富山県の平成30年度多文化共生推進研修員として約半年間高岡市野村小学校で活動され、令和元年度に国際留学生として富山大学人間発達科学部で研究。その研究成果を「中等教育高岡におけるブラジル・サンパウロ州と日本の数学教育課程の比較」(「富山数学教育研究」21号富山大学人間発達科学部発達教育学科数学教育研究室、2021)にまとめた。

大人向けセミナー 『10代からの批判的思考』 -私のキャリアデザイン-

中学を卒業したら、高校に行って大学に行って、就職する？進学先や就職先は、学校のテストの点数で決まるもの？自分の人生、他人に決められたレールの上を歩くだけでいいのかな？すっかり大人になっただけ、自分は「なりたい自分」になれたかな？まだ「なりたい自分」があるんだけど、今からじゃもう遅い？ずっと誰かに決められたレールの上を歩いてきたけど、よかったのかな？一緒に考えてみましょう！

講師：名嶋 真由 氏
琉球大学グローバル教育支援機構教授
主な著書『民主的クイズシンプアの育て方』(編著、ひつじ書房、2019)、『批判的思考研究をはじめの』(ひつじ書房、2018)

8月

Try me in Takaoka YEG ~自分自身を信じて自分らしく生きる選択を~

高岡商工会議所青年部が主催する「インターンシップ」にアレッセ高岡が参加のお手伝いをします！見て、聞いて、体験してみませんか。

インターンシップを通じて
きっと経験が自分の未来につながる

9月

アレッセ高岡は、外国にルーツを持つ青少年が進学等によって自己実現を果たし、日本とルーツの国との架け橋として、また、地域社会の一員として活躍する人材となることを目指し、支援活動を行っています

「市民性教育」ってなに？
ここでいう「市民」とは、主体的に社会と関わることを志し、実践し、他者と共に生きたいとする者のこと。「市民性教育」とは、その「市民」に必要な資質を育てることです。

CONTACT US
alece.takaoka@gmail.com
080-8885-6823(事務局)
〒933-0928
富山県高岡市守山町35 ニッセンビル402

アレッセ高岡
この事業は日本国際交流センター(LJCE) 外国ルーツ青少年未来創造事業の助成を受けて行われています

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況によってプログラム内容が変更される場合があります。
主催：NPO法人アレッセ高岡 後援：高岡市

Upcoming Events

NPO法人アレッセ高岡 市民性教育プログラム セミナー・ワークショップ

Citizenship education Program Seminar / Workshop

2021年度10月-3月 開催予定イベント

11月 11日
「君がいる、いた、そんな時。」
映画上映&トーク・ディスカッション

不器用に生きる3人の主人公を描いた映画「君がいる、いた、そんな時。」の追田監督をお迎えし、映画についてのトークや、自分の経験などについてディスカッションをします！

11月 11日
「なりたい自分」になるために
-自分のキャリアをデザインする-

初めて自分の「キャリア」を考える人も、これまで長い「キャリア」を歩んできた人も「こうあるべき?」「こうしなきゃいけない?」...一緒に批判的に考え、自分のキャリアをデザインしよう!

12月 12日
先輩に聞こう!
-進路の悩み・就職体験-

現役大学生の先輩や、東京で働いている先輩と交流しながら実際にあった進路の悩み、就職に関すること、社会人になるまで、社会人になってからの経験談など、気になることを聞いてみよう!

1月 1日
絵本の良さを伝えよう!
同年代の青少年および大学生と協力し合い、絵本の宣伝用チラシを作ってみよう。

2月 2日
防災グッズと非常食にTRY!
いざという時のために知っておこう!~
防災イベント (bousai)

3月 3日
アレッセフィルムフェスティバル
「映画制作ワークショップ」


プロの力を借りながら、外国ルーツ・日本人の青少年が一緒にチームを組み、表現したい内容を考え、短編映画を制作します。4月には映画祭も開催!

CONTACT US
alece.takaoka@gmail.com
080-8885-6823(事務局)
〒933-0928
富山県高岡市守山町35 ニッセンビル402

アレッセ高岡ホームページにて
イベント詳細逐次公開!

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況によってプログラム内容が変更される場合があります。
主催：NPO法人アレッセ高岡 後援：高岡市


	Cognitive	Socio-emotional	Behavioural
アレッセの市民性教育の軸 ↓↓	世界的、地域的、国家的及び地域的問題並びに異なる国及び集団の相互関連性及び相互依存性に関する知識、理解及び批判的思考を習得する	共通の人間性に属しているという感覚を持ち、価値と責任を共有し、共感し、連帯し、相違点と多様性を尊重すること	より平和で持続可能な世界のために、地域、国、世界レベルで効果的かつ責任ある行動をとる
市民性獲得のための基礎的資質の涵養 (批判的思考・リテラシー・多様性の尊重など)	世界的、地域的、国家的及び地域的問題並びに異なる国及び集団の相互関連性及び相互依存性に関する知識、理解及び批判的思考を習得している	共通の人間性に属しているという感覚を持ち、価値と責任を共有し、共感し、連帯し、相違点と多様性を尊重する	多様な他者に伝えるための表現力を身につけ、積極的に発信し、対話することができる
社会課題の解決 (防災・産業など)	自分の住んでいる地域や世界の政治経済や歴史、文化等を踏まえ、地域や世界の課題を認識し、その構造や関係について理解している	自分の住んでいる地域や世界の課題について、多様性を尊重する態度と当事者性をもって捉え、考えることができる	自分の住んでいる地域や世界の課題を主体的かつ協働的に解決できるような社会参加ができる
キャリアデザイン	他者との関係の中で自分自身や自分の置かれた状況などを客観的に捉え、自分の人生のテーマや生きる目的を明確化し、それを達成するための課題を認識している	世界や地域の一員としての感覚を持ち、多様な他者とともに生きることを踏まえた上で、自分のキャリアについて考えることができる	【世界や地域の一員として自分のできること・やりたいこと・やるべきことを、具体的に実行に移すことができる



市民性獲得のための
基礎的資質の涵養



社会課題の解決



キャリアデザイン
+
基礎的資質

制服のメリット・デメリット

メリット


デメリット

制服のスカート
廃止

- 生徒間の格差をなくす
- 生徒の意識を高める
- 生徒の学習意欲を高める
- 校風を統一する

SDGsフォーラム



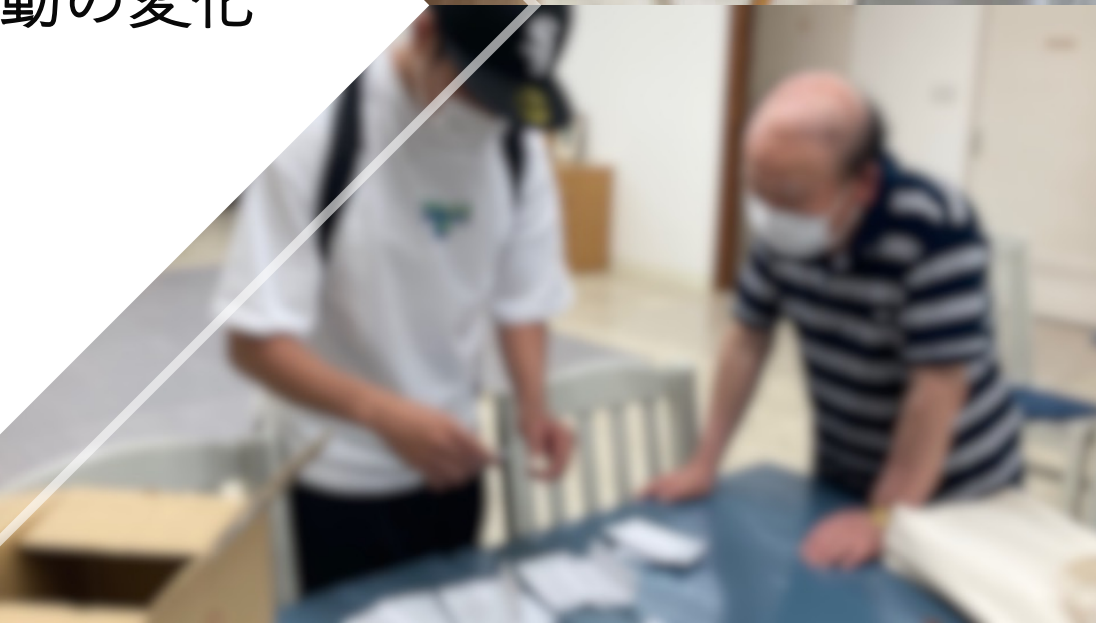


学習支援
対面・オンライン

普段の活動の変化



日付	曜日	時間	支援者名	生徒名	1	2	3	4	5
✓	火								
	土AM								
	土PM								
✓	火								
	土AM								
	土PM								
✓	火								
	土AM								
	土PM								
✓	火								
	土AM								
	土PM								
✓	火								
	土AM								
	土PM								



中間評価（アウトカムの進捗状況）

CLD青少年	①社会やコミュニティの理解・つながり	地域への好感度・共生意識UP。地域の歴史文化等への関心はまだ低い。
	②社会課題・社会参画への意識	グローバル課題への関心UP。地域活動への参加は一部拒む者も。
	③自己の視点・意見を他者と共有する意識	理解共感し合う態度（特に「聞く」姿勢）UP。文化の違いを尊重する態度UP。ただし、
	④自己肯定感	
	⑤視野の広さ	まだ狭い。
	⑥志望校への関心	データ収集・分析中)
	⑦学習動機の高さ	まだ低い。
	⑧表現への意欲	
	⑨日本語・母語の運用能力	
非CLD青少年	①CLD青少年との間の心理的距離	
	②社会やコミュニティの理解・つながり	データ収集・分析中)
	③社会課題・社会参画への意識	(データ収集・分析中)
	④自己の	
支援者 保護者	①CLD	
	②CLD (市民)	あり。
	③自分	
	④CLD	
自治体 地域住民	①CLD	
	②CLD青	

市民性形成の各指標の値がUP
 ↑ ↓
CLD青少年の地域への関心、地域活動への参加意欲、自己肯定感、キャリアに関する情報収集力や視野、学習の自律性（意欲・態度）が課題

プログラム改善のポイント：
 → 自己肯定感を高めるような活動
 → CLD青少年の視野を広げ、キャリアデザインへとつなげる活動
 → 地域への関心・参画意識を高めるような活動
 ……にさらに力を入れる！

中間評価（事業の改善状況）

実施状況の適切性	計画通りか	パンデミックによる影響
	効果的か	多様な人のポジティブな「居場所」への変化 多様な「関係者」ネットワーク オンラインによる事業の拡大 このCEPの意義の実感
知見の共有・活動の改善	新たなアイデア	共有し、練り上げ
	新たな変化	スタッフ内部のさらなる対話、外部へのわかりやすい発信、財政基盤・人材育成の強化、ICTスキルの向上が課題
	他団体からの学び・知見の蓄積および共有	知見は蓄積されてきているが、共有しづらいところがあったり、内部支援者に理念が十分共有できていないなど、十分に共有できているとは言い難い
	組織基盤強化	法人化）
コロナ追加助成による影響	包括的支援事業のあり方に関する知見・経験の蓄積体制	研修内部の多様性や外部連携の強化によって、パワー不足などによって
	ICT機器の無料貸出	課題

運営改善のポイント：

- 組織内部のコミュニケーション・スキルアップ
- ITなども活用した広報の工夫・発信力の強化
- ・・・に力を入れる！

当初はあまり想定していなかった成果

出会いと居場所

- 雑居ビルを拠点に→多様な人との出会い
- 活動内容の多様化→逃げ場所というより「楽しい・面白い」ポジティブな「居場所」

ネットワークの広がり

- 以前は関わりがなかったような組織・個人とのつながり（商工会議所、青年会議所、消防署・危機管理課、福祉担当課・社会福祉団体、日本語教育以外の大学関係者、映画関係者等）

新たな支援・活動チャンネル

- オンライン学習支援の開始
- オンラインイベントの実施
- クラウドファンディングへの挑戦

事業で直面している課題

コロナによる影響

- 宿泊や飲食を伴ったイベントが実施できない
- 状況が悪化するたび対面教室休止→対面指導を希望する青少年の取り込み難

組織基盤の弱さ

- 広報ノウハウの不足→県内支援空白地域へのアプローチ難、マンパワー不足
- マンパワー不足によるスタッフの疲弊（CLD青年を雇用したいが、資金が不足）

CLD青少年にとってのプログラム内容の魅力？

- CLD青少年の期待感の低下（アレッセ生徒の参加率低下）
- 青年部の活動の非活性化

SCの皆さんからのエンパワメント

学習支援

- 要支援者へのアウトリーチ
- HR（人材獲得・育成）
- 学習支援内容の向上

組織支援

- 資金調達
- HR（人材獲得・育成）
- 規定類作成

広報戦略

目指す「アレッセ高岡」の将来像

外国ルーツの青少年が主体となってアレッセを運営し、アレッセがリーダーとして地域の課題解決に取り組むようになっている



「映画」という表現手段を通して、青少年の力によって
地域の多文化共生を実現しようという試み

市民性教育
講座で映画
鑑賞WS

3月26-28日
若者たちの
映画制作WS

プロ（空族）の
サポート！

フィルム
フェスティバル

5月28日(予定)

映画祭

子どもたちの映画
とプロの映画

プロの映画監督とつくる
映画制作ワークショップ
10代参加者募集！

FESTIVAL
AM#1 >> WORKSHOP
5-28.2022



私たちの、カラフルなものがたり